

新プロジェクト始動

皆さまもぜひ参加してください

各プロジェクトに関心や興味がある方は一緒にやりませんか。皆さまの参加をお待ちしています。

市民ネットワークちば
TEL 201-2551

山田京子

「あんしんケアセンター」は、今年から各区3〜5カ所に増えますが、それも、以前から市民ネットワークちばが、福祉プロジェクトの活動を通じて、議会のいろいろな場面で、増設を主張してきたことが実現したものと考えています。

また、各区2カ所だった「あんしんケアセンター」は、今年から各区3〜5カ所に増えますが、それも、以前から市民ネットワークちばが、福祉プロジェクトの活動を通じて、議会のいろいろな場面で、増設を主張してきたことが実現したものと考えています。

具体的で身近な問題を学習し、調査し、議会で質問し、みんなで考え、政策提案していくのが、市民ネットワークの政策プロジェクトです。今年4月から新しい政策プロジェクトが動き始めています。

プロジェクトの成果 じわじわ

できあがったプロジェクトの政策提案が、そつくり市の施策になることはそう簡単ではありません。しかし、その途中での議会質問、次年度の予算編成に向けての要望書づくり等に検討内容が生かされ、市の施策にじわじわと反映されています。

ごみプロジェクト



千葉市は、ごみの削減を進めてきましたが、目標を達成できない見込みとなり、焼却処理量の削減に有効な施策として、有料化の条例を9月または遅くとも12月に提案する予定です。有料化の前に、生ごみの堆肥化、プラスチックの分別収集などをすれば焼却ごみを減らせるとしています。

私たちは、有料化の是非を含め他市の事例なども学習し、有料化導入による高齢者、障害者、乳幼児家庭への配慮や、不法投棄の問題なども考えていきたいと思っています。

佐々木典子

防災・避難所プロジェクト



3.11の大震災の後、各地の避難所では、運営するにあたって様々な課題があったと聞いています。防災・避難所プロジェクトでは、各所の防災・避難所マニュアルの良い事例を、メンバーが持ち寄って検討し、女性の視点を生かした市民ネットワーク版の防災・避難所マニュアルが提案できるよう活動します。

また、避難の次の段階として、子どもを抱えた女性の就労支援なども考えていきたいと思っています。

岩崎明子

市民事業プロジェクト



地域に必要な仕事をつかっていく市民事業は、ネット活動から生まれ、すでに稲毛区の「キッチン虹（老人給食）」若葉区の「てくてく（たすけあい）」、そして4年前からは、美浜区の「アイアイ（階段昇降、福祉有償運送）」などがあります。

千葉市は、地域福祉計画などで市民事業への支援を掲げていますが、実質的にはほとんど支援はありません。時代は活発な市民事業を必要としています。元気に活動できるように市に提言していきます。忙しいメンバーばかりなので、会議は持たず、メーリングリストで意見交換を始めています。

岩橋百合

街路樹プロジェクト



街の顔ともいえる街路樹。しかし現状は、管理費の大幅な削減により無理な強剪定が目立ちます。また、根元が成長して植えやすいつばいになっていたり、成長し過ぎて密植状態だったり、枯れた後補植されないところもあります。根で歩道が盛り上がる危険箇所も見られますし、農薬散布の問題もあります。

街路樹を様々な視点で検証し、そのあり方と私たちにできるかかわり方を考えていきたいと思っています。

小西由希子

家庭ごみ処理が有料化に…？



1袋1円上乗せということは、45リットの袋で、1枚につき45円の上乗せ。もっとごみを減らす工夫をしなくては。

頭打ちになった焼却ごみの削減量

千葉市は、焼却ごみ量1/3削減を目標として取り組み、分別の徹底などにより、ごみ焼却処理量は平成19年度から22年度まで減り続けてきました。平成23年度は目標を達成できず、頭打ちのごみ減量をさらに進めるため、家庭ごみの処理を有料化する方針です。

処理手数料を袋の価格に上乗せ

ごみ処理の有料化は、全国の市区町村の60.2%が導入しており、平均約10%の削減効果があるということです。他市の事例を参考に、千葉市は、ごみ1袋あたり1円程度の処理手数料を袋の価格に上乗せして販売する計画で、これによる歳入は、諸経費を差し引いて約6・7億円と見込んでいます。

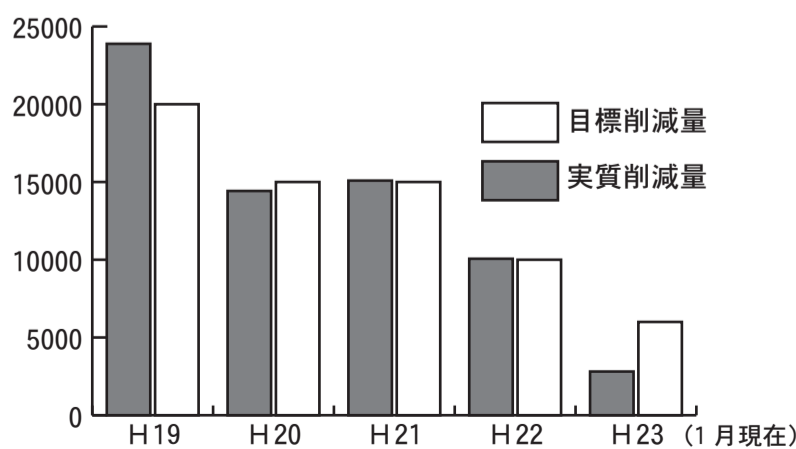
アンケートにご協力下さい。締切は6月20日(水)

現在、市内に3カ所ある清掃工場のうち、北谷津清掃工場は昭和53年稼働、全国でもトップレベルの古さで、建て替えの時期にきています。しかし、同規模の工場を建設するには約182億円、これを維持管理するには毎年6・4億円が必要になります。これは財政危機に瀕している千葉市にとって大きな負担となります。

一緒に考えましょう

今年度中に条例を制定し、平成25年度中に有料化、2年間の削減効果を検証した後、順調に削減が進めば、平成28年度に北谷津清掃工場の廃止というスケジュールが示されています。有料化までに具体的に検討しなければならぬことが多くあります。市民ネットワークちばは、ごみプロジェクトを中心に、市民の目線で有料化の是非も含めてごみ問題を考え、積極的に関わっていきます。アンケートを実施していきますので、ぜひ皆さまのご意見をお寄せください。

ごみ削減量(トン)の推移



●ごみ有料化についてあなたのご意見をお聞かせ下さい

賛成 反対 どちらとも言えない

●その理由は何ですか

●現在、あなたがごみ減量のために実践していることはありますか

●生ごみ処理で工夫していることがあればお聞かせ下さい。

●今後千葉市がごみ減量のためにすべきことは何だと思われるか
例) 生ごみ堆肥化、プラスチックごみ分別、等

お名前 _____ TEL _____
ご住所 _____